

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年4月20日

【評価実施概要】

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 事業所番号 | 174700823 |
| 法人名 | 社会福祉法人 清水旭山学園 |
| 事業所名 | せせらぎハウス |
| 所在地 | 上川郡清水町南3条1丁目 (電話) 0156 - 62 - 3611 |
| 評価機関名 | 株式会社 日本プランニングセンター |
| 所在地 | 札幌市中央区北6条西24丁目1 - 30YMビル |
| 訪問調査日 | 平成21年2月14日 |

【情報提供票より】(20年10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成) 17年 4月 1日 |
| ユニット数 | 1 ユニット 利用定員数計 9 人 |
| 職員数 | 12 人 常勤11人, 非常勤 1人, 常勤換算8.2人 |

(2) 建物概要

| | |
|------|--------------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り |
| | 1 階建ての 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|-------------------|---|
| 家賃(平均月額) | 23,000 円 | その他の経費(月額) | 10,000 ~ 14,600 円 | |
| 敷 金 | 有(円) (無) | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) (無) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,000 円 | | | |

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|-------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 1 名 | 女性 | 8 名 |
| 要介護 1 | 3名 | 要介護 2 | 2名 | | |
| 要介護 3 | 3名 | 要介護 4 | 0名 | | |
| 要介護 5 | 1名 | 要支援 2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 87.8 歳 | 最低 | 81 歳 | 最高 | 95 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------------------|
| 協力医療機関名 | 前田クリニック(内科、外科)、大江病院(精神科)、南歯科医院 |
|---------|--------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

入居者主体の考えが徹底されている点が素晴らしいホームである。職員ひとりひとりが入居者にとって何をすべきか、自分の役割をしっかりと理解している。結果として、入居者の好み、要望についてはできるだけ早く叶えてあげるために、職員が協力し合いながらその実現に向けて支援が行われている。ホームの立地条件は景観の素晴らしい場所に位置し、ホーム内は明るく開放的であり、生活空間としても申し分ない。このホームを今後も職員が協力し合いながら支え続けていただくことを望む。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | さらなる地域福祉向上のために、このホーム(法人)が中心となって他の事業者と協力しながら、SOSネットが立ち上がるなど、その効果が出てきている点を評価したい。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 毎年行っている外部評価(自己評価)について、職員がその意義を改めて認識するよう、教育委員会などを活用し、意識づけを行っている。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | ホーム内の様子を伝えたり、ホームから運営推進委員の方へさまざまな協力を促す機会として会議は有効に活用されている。また、運営推進委員の方には、ホームのことをもっとよく知ってもらうために、ホームの行事に参加してもらうなどの機会も積極的に作っている。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 家族からの意見、要望があった場合には、職員会議、チーム会議などにおいて、その解決策についての検討が行われている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 町内会行事への参加、ボランティアの来訪など地域交流の機会を積極的に活用したり、日常的な外出の機会を多くするなどの取り組みを行ってきたことで、現在では、地域との連携は深まっている。 |

2. 調査報告書

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|--|---------------------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 入居者に対するホームや職員の思いを実現させるために、職員同士で分かりやすい理念になるよう見直しを行った。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念は、職員同士で作上げたものであり、職員ひとりひとりが理念については、十分理解している。その理念を実現させるために入居者それぞれにとってふさわしい支援を行っている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内清掃や回覧板の回覧など、地域住民として近所の方との日常的な地域交流は盛んに行われている。 また、町内会行事や入居者の美術作品展示などのイベントにおいても、地元の高齢者や高校生などとの交流が行われている。 | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価についてはホームの運営状況を客観的に評価する機会として活用している。 気付いた課題については、職員会議の場などにおいて解決策の検討をしている。 | | 全職員が自己評価の意義を理解するために、教育委員会をうまく活用して、ホームのサービスの向上と職員の成長につなげていただくよう望む。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議においては、ホームの実情について細部まで報告している。推進会議メンバーの方に、ホームをもっと良く知ってもらえるよう、ホーム行事への参加なども促している。</p> | | |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>ホーム側から町に対して地域福祉の活動を積極的に促している点は評価したい。その結果、町と地域福祉向上のために共同して活動を行うことができるようになったなど成果が現れている。</p> | | |
| <p>4. 理念を実践するための体制</p> | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>家族に対しては、ホーム開設以来、毎月家族あてに入居者の日常生活や行事での様子をしたためた手紙を金銭報告と一緒に送付している。来訪される家族に対しては、直接様子を伝えている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族には、来訪時にアンケートを行ったり、連絡を取った際に、要望や不満を聞きだすよう働きかけている。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>異動は法人運営上およびホーム運営上に必要な場合に行われている。その際、入居者のダメージが最小限になるよう、引継ぎ者がケアプランを十分に理解したり、職員同士がうまく連携を取り、支援を行っている。</p> | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|---------------------|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>職員育成、定着がホームの課題と考えている。そのために、職員がいかに意欲を持ってケアに取り組むのかなどを教育委員会が中心となって対策を練っている。</p> <p>法人全体では、階層別に職員育成に力を入れており、研修など育成の機会をつくっている。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>地域の同業者とは相互交流を行っている。それぞれの運営推進委員会においても相互交流を図っている。</p> | | <p>現在町内の他ホームと共同で準備を行っているSOSネットワークが町を巻き込みながら軌道に乗ることを望む。</p> |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入居前に本人、家族と十分に話し合いを行い、入居後、生活習慣などができるだけ継続できるよう配慮している。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>ホーム内は、入居者、職員がお互いに協力しながら家事を行ったり、会話を楽しんだり、一緒に楽しく過ごしている様子が窺えた。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入居者主体であることが徹底されており、入居者が望むことについては、職員同士が協力し合いながら、できるだけ早く叶えてあげている。要望があまり表に出せない入居者に対しても職員ができるだけうまくコミュニケーションを取りながら、意向を聞きだそうとしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 介護計画は入居者の生活暦、好み、生活習慣などをアセスメント時に本人、家族からヒアリングを行い、本人にとってふさわしい介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 日常の介護や会話の中で、職員が気付いた点や入居者の変化などが計画見直しまで必要と思われる場合には、ケース会議などで話し合いを行い、随時見直しを行っている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | グループホームが地域において果たすべき役割が何かを管理者が十分理解しており、地域福祉へ大きく貢献している。 また、グループホームがどのような事業所であるのかを理解いただくために、地域の方や関係者の方へホームを解放している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>かかりつけ医には、2週に1回は来訪してもらっている。体調急変時などは、休日、夜間でも医師に連絡が取れる体制が出来ている。隣接する特養には看護師が職員であり、いつでも相談することも可能である。</p> | | |
| 19 | 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>重度化、終末期の指針を作り、家族からも同意が得られている。 今後は、ケースごとに家族、ホーム、医師と連携を取りながら、入居者本人にとって望ましい終末期ケアを行う用意ができています。</p> | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>職員は、入居者のプライバシーに配慮した声かけ、ケアを行っている。 入居者の個人情報については、職員全員が取り扱いには注意している。</p> | | |
| 21 | 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>ホームの理念にも掲げている通り、あくまで入居者主体のホームである。したがって、職員は入居者がどのように過ごしたいのか、何を望んでいるのかを良く聴き、それを実現できるように支援を行っている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>食事の支度は、職員、入居者が共に協力しながら準備を楽しむそうに行っている様子が窺えた。</p> <p>食事の時間は、同じテーブルを囲み、食事を楽しんでいる。</p> <p>職員は、入居者の状態の合わせ、必要に応じてサポートを行っていた。</p> | | |
| 23 | 57 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | <p>入浴は入居者の希望に応じて支援を行っている。</p> <p>安全面にも十分に配慮し、手すりの設置などの設備も整っている。</p> | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p>ホーム内で過ごしたい入居者、外出したい入居者さまざまであるが、まずは、入居者の意思を尊重している。入居者の要望には、できるだけ断らないように職員はお互いに協力し合いながら支援を行っている。</p> | | |
| 25 | 61 | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> | <p>近所への散歩、回覧板配り、ゴミだし、買い物、家庭菜園など日常的な外出の機会が多い。</p> <p>外出については、日中は制限なく、いつでも自由に外出している。ただし、その場合、職員がすぐに気付き、付き添いなどのサポートはしっかりと行われている。</p> | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | <p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | <p>日中は鍵をかけることはなく、いつでも自由に外出が可能である。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|---|---------------------|---|
| 27 | 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>避難訓練、救命救急講習など定期的に開催し、職員の防災意識を高めている。</p> | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>必要以上に栄養を取らないよう、カロリーコントロールを行っている。水分補給量も記録に残し、必要量の確保に努めている。献立については、隣接する特養の管理栄養士に栄養バランス、カロリーなど、時々チェックしてもらっている。</p> | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>共有空間は明るく開放的である。オゾンによる空気消臭システムや光触媒などにより、衛生環境も整っている。</p> <p>窓からは、山並みが見える眺望の良い場所に位置している。</p> <p>庭で植えた野菜なども成長を觀賞し、季節感を味わうことも出来ている。</p> | | <p>入居者にとって過ごしやすい空間づくりの工夫、整理整頓、清潔な状態を保つために職員会議やチーム会議において、どの職員からも積極的な意見が出るよう望む。</p> |
| 30 | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居室は、入居者個々が自由なしつらえを施している。</p> <p>自宅から使い慣れた家具、ぬいぐるみなども持ち込むことができ、自分の生活空間が出来上がっている。</p> | | |

 は、重点項目。